

原発投票へ署名開始

新潟で市民団体

県民4万人分目標に

柏崎刈羽再稼働「意思表示の機会」

東京電力柏崎刈羽原発（柏崎市、刈羽村）の再稼働の是非を問う県民投票の実施をめざす署名集めが23日、新潟市で始まった。県内各地の住民らでつくる「みんなで決める会」が呼びかけたもので、目標は約4万人。実現までのハードルは多いが、「県民に意思表示の機会をつくりたい」と一歩を踏み出した。



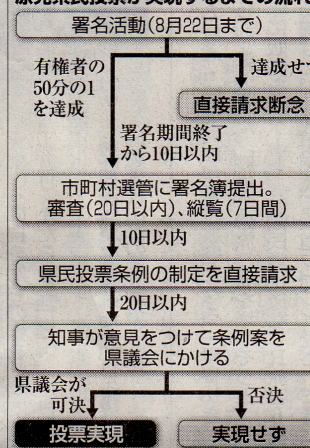
県民投票実施の呼びかけに応じて署名をする人（左）＝23日、新潟市中央区の新潟駅前

午前10時すぎ、緑色のTシャツを着たメンバー数人

「みんなで決める会」が制定をめざす県民投票条例案

柏崎刈羽原発の稼働について賛成か反対かを問う。投票資格は永住外国人を含む18歳以上の県民。施行から90日以内に投票を実施し、賛成、反対のいずれかの多い方の票が、全投票資格者の4分の1を超えた場合、知事と議会は結果を尊重し、県民の意思が反映されるよう努める。

原発県民投票が実現するまでの流れ



午前10時すぎ、緑色のTシャツを着たメンバー数人、同会共同代表の橋本桂子さん(39)は「県民一人ひとりの意見を反映させたいと考える人がいると実感できた」と話していた。

泉田裕彦知事は21日の記者会見で、再稼働に関する

知事「選択肢の一つ」

この会は、原発国民投票の実現を唱えるジャーナリスト、今井一さんが2月に行った講演会の参加者を中心に結成された。主なメンバーは約50人。環境問題などをテーマに活動してきた人たちがいる。

条例制定の直接請求には、2カ月間で有権者の50分の1の署名が必要だ。2日現在の有権者数で計算すると3万9136人分となる。一方、署名集めにあたる「受任者」は21日現在

で503人。「もう少し準備期間がほしい」との声もあったが、法令の規定で10月の知事選前の約2カ月間は、署名集めができない。東京電力が来年度の再稼働を計画する中、今年度内での投票実現をめざすためには、このタイミングで動き出すしかない」と判断した。

県民投票について、「（福島で）これだけ大きな事故

何度も訪れたくなる...

貸切家族風呂 山の別荘 無料

ひめさかりの里——つり橋と水車の公園 長野県 嵐渓荘 貸切風呂 予約受付中 三糸市長野1450 ☎(0256)47-2211 www.rankai.com

実際に、県議会でも審議される場面になれば、定数53のうち34議席を占める自民党の動向がかぎを握ることになりそうだ。「みんなで決める会」は署名集めと並行して、各地で県議に対して、条例制定に理解を求める働きかけをしたいとしている。

(吉武祐)